

公益財団法人平野政吉美術財団

平成31年度 事業実施計画

I 展示公開事業

II 教育普及事業

III 調査研究事業

IV 美術ホール運営事業

V 売店事業

平成31年4月1日～平成32年3月31日

<基本方針>

本年度は、藤田嗣治の没後 50 年を経て、その作品への注目度が高まるなか、平野政吉コレクションおよび鶴田家から寄贈された作品・資料について、調査、研究の充実を図り、研究成果を発表し、県民をはじめ広く世界に当財団の基本財産の意義を発信する。

<重点事業>

- ・平野政吉コレクションの作品群と、一級の美術資料である藤田嗣治の書簡等が、永続的に保存されるよう配慮するとともに、詳細な調査にも取り組む。
- ・基本財産調査の研究の成果を、展示公開事業である常設展、企画展、特別展に生かす。
- ・企画展は、平野政吉コレクションのなかから藤田旧蔵品をエピソードとともに紹介する「画家とコレクターの愛蔵品」展、2018 年度に寄贈されたゴヤ《闘牛技》を紹介する「平野政吉コレクションの西洋画」展を開催する。
- ・特別展としては、日本を代表する影絵作家の展覧会「藤城清治展 生きる喜び」、日本での 10 年ぶりの回顧展となる「キスリング展」を開催する。続いて、藤田嗣治の東京美術学校時代から渡仏の頃に焦点を当てた「師・黒田清輝 妻・鶴田とみ 藤田嗣治 東京美術学校から渡仏へ」展を開催する。
- ・教育普及事業としては、専門的美術講座、講演会、美術館教室やワークショップ、ギャラリートーク、コンサート、出前授業等のイベントを実施し、県民に親しまれる美術館を目指す。
- ・壁画《秋田の行事》については、月一回の定例ギャラリートークを実施する。平野政吉と藤田嗣治の交流、および壁画のテーマとなった「秋田」について理解を深めることができるような解説を行う。
- ・学校と連携し、美術館における幼児、児童、生徒、大学生の学習の充実に務める。
- ・セカンドスクールについては、学年に応じた解説を行い、ワークシートを活用し、作品に向き合う姿勢を涵養する。
- ・セルフガイドの作成、わかりやすい解説など、よりよい鑑賞の実現に取り組む。
- ・展示作品について研修し、他の美術館と交流し、美術館スタッフの資質向上に努める。

<貸しホール事業>

- ・県民の創作活動発表の場である美術ホール（県民ギャラリー）は、ホールの特性を生かした利用促進を図る。特別展「藤城清治展」では、展示室と一体的に使用することで、大規模な展観を実現する。

I 展示公開事業

<1> 常設展示事業

平野政吉コレクションの核である藤田嗣治作品を展覧し、1930年代の藤田の画業を紹介する。

常設展 平野政吉コレクション展

1 会 期 平成31年7月20日(土)～平成31年9月23日(月・祝)

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

藤田嗣治の中南米や中国へ旅に取材した作品、および日本をテーマにした作品を展覧する。

4 主な展示作品

藤田嗣治 《カーナバルの後》、《町芸人》、《北平の力士》、《自画像》、《吾が画室》

<2> 企画展示事業

平野政吉美術財団所蔵作品、および秋田県立近代美術館所蔵作品、県内在住作家の作品を生かした展覧会を開催する。

企画展 画家とコレクターの愛蔵品

1 会 期 平成31年4月4日(木)～平成31年5月19日(日)

2 会 場 ギャラリー1・2

3 趣旨

藤田嗣治が愛蔵した作品と収集品。その一部は、壁画制作を支援した資産家・平野政吉に譲渡され、かつて秋田市大町の平野邸で大切に保管されていた。本展では、藤田と平野が愛着を寄せた作品をエピソードとともに展示する。

4 主な展示作品

彫千代《刺青見本図》、マネ《水浴》、岸田劉生《自画像(1913)》、浅井忠《秋郊》 など

企画展 デッサンの温度 - 藤田嗣治と秋田の画家たち -

1 会 期 平成31年5月25日(土)～平成31年7月15日(月・祝)

2 会 場 ギャラリー1・2

3 趣旨

藤田嗣治の描く線は、事物の核心を探求し、対象と一体となること生まれた。とくにデッサンの線はモデルの皮膚の表面として生気を内包する。秋田の画家たちも、半世紀前に開館した平野政吉美術館で、藤田作品と向き合うこともあった。本展では、藤田のデッサンと、秋田の画家たちのデッサンを展覧し、線描の魅力を堪能していただく。

4 主な展示作品

藤田嗣治《メキシコでの素描》、《北京での素描》、《女》など

企画展 平野政吉コレクションの西洋画

1 会 期 平成32年2月1日(土)～平成32年4月19日(日)

2 会 場 ギャラリー1・2

3 趣旨

2018年に藤田嗣治旧蔵のゴヤの版画《闘技》6点が、財団に寄贈された。平野政吉コレクションを補完する、この寄贈作品を中心に平野政吉コレクションの西洋画を展覧する。

4 主な展示作品

ゴヤ『闘牛技』、ファン・ゴッホ《ガシェ氏像》、ケルマデック《人物》など

< 3 > 特別展示事業

美術の動向や時代の状況を踏まえてテーマを設定し、他館からの借用作品を中心に構成した展覧会を開催する。

特別展 藤城清治展 生きる喜び

1 会 期 平成31年7月20日（土）～平成31年9月23日（月・祝）

2 会 場 県民ギャラリー、ギャラリー1・2

3 趣旨

独自の技法でファンタジーや童話の世界を描き出す影絵作家・藤城清治。動物や「こびと」などがにぎやかに躍動する作品には、生きとし生けるもの全てへの愛があふれている。本展では、代表作から近作を展示、あわせて秋田をテーマにした作品も紹介する。

4 主な展示作品

藤城清治作品

特別展 キスリング展

1 会 期 平成31年9月29日（日）～平成31年11月24日（日）

2 会 場 ギャラリー1・2

3 趣旨

魅力的な人物像で知られるキスリング。エコール・ド・パリを代表するこの画家は、生涯を通して鮮烈な作品を描き続けた。フランスからの作品で構成し、肖像の他、花、風景、裸婦、静物などを展覧する本展は、約10年ぶりの日本での回顧展となる。友人であった藤田嗣治の作品をあわせて展示し、内容を充実させる。

4 主な展示作品

キスリング《Fillette》、《Portrait》、《La Port》、《Saint-Tropez》、《Nature morte aux fruits》
藤田嗣治の版画(平野政吉美術財団蔵) など

特別展 師・黒田清輝 妻・鶴田とみ

藤田嗣治 東京美術学校から渡仏へ

1 会 期 平成31年11月30日（土）～平成32年1月26日（日）

2 会 場 ギャラリー1・2

3 趣旨

日本近代洋画の父と呼ばれた黒田清輝。東京美術学校在学中に黒田の指導を受け、卒業後、渡仏した藤田嗣治。この二人の画家には、フランスで本格的な画業をスタートさせたこと、構想画への志向など、共通の要素を見ることができる。本展では、黒田の人物画と風景画、藤田の1910年代の風景画および妻・鶴田とみに宛てた書簡などを展覧し、藤田と黒田との関係、そして妻に綴った藤田の想いを紹介する。

4 主な展示作品

黒田清輝《編み物》、《昔語り下絵（構図I）》、《栗拾い》（東京国立博物館）

藤田嗣治《湖畔の霧》（国立国会図書館蔵）

藤田嗣治《榛名湖》、《三保の松原》、《京城の眺め》（公益財団法人平野政吉美術財団蔵） など

Ⅱ 教育普及事業

美術館に親しみ、美術への理解を深めてもらうため、さまざまな年齢層、多様な立場の方を対象にした講演会、美術館教室、ワークショップ、ギャラリートークなどを実施する。

(1) 専門的美術講座

事業名 専門的美術講座「館長によるデッサン講座（仮）」
講師 渋谷重弘（秋田県立美術館 館長）
実施日 平成31年6月23日（日）、6月30日（日）、7月7日（日）（予定）
対象 一般
会場 レクチャールーム

(2) 講演会

事業名 「キスリング展」関連講演会（仮）
講師 村上哲（美術史家）
実施日 平成31年9月29日（日）（予定）
対象 一般
会場 レクチャールーム

事業名 「黒田清輝展」関連講演会（仮）
講師 山梨絵美子（美術史家）
実施日 平成31年12月8日（日）（予定）
対象 一般
会場 レクチャールーム

(3) 美術館教室

事業名 美術館教室「秋田の現代アートについて（仮題）」
講師 山本文志（秋田県文化振興課副主幹）
実施日 平成31年10月20日（日）（予定）
対象 一般
会場 レクチャールーム

(4) ワークショップ

事業名 ワークショップ「子供こそ描こう！ 抽象画」
実施日 平成31年12月22日（日）（予定）
講師 渋谷重弘（秋田県立美術館 館長）
対象 小学生
会場 レクチャールーム

事業名 ワークショップ「光の箱をつくろう」（仮）
実施日 平成32年1月12日（日）（予定）
講師 美術館スタッフ
対象 小・中学生
会場 レクチャールーム

(5) ギャラリートーク

企画展 「画家とコレクターの愛蔵品」

実施日 平成31年4月20日(土)、5月18日(土)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

企画展 「デッサンの温度 -藤田嗣治と秋田の画家たち-

実施日 平成31年6月15日(土)、7月13日(土)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

特別展 「藤城清治展 生きる喜び」

実施日 平成31年8月17日(土)、8月31日(土)、9月21日(土)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2、県民ギャラリー

特別展 「キスリング展」

実施日 平成31年10月19日(土)、11月2日(土)、11月16日(土)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2、大壁画ギャラリー

特別展 「師・黒田清輝と妻・鴫田とみ

藤田嗣治 東京美術学校から渡仏へ」

実施日 平成31年12月21日(土)、平成32年1月4日(土)、1月18日(土)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2、大壁画ギャラリー

定例ギャラリートーク《秋田の行事》を読み解く

実施日 毎月第1土曜日 竿燈期間中—平成30年8月4日(日)、8月5日(月)、8月6日(火)

講師 教育普及員・解説員

会場 大壁画ギャラリー

企画展 「平野政吉コレクションの西洋画」

実施日 平成31年2月15日(土)、3月21日(土)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

(6) ミュージアムコンサート

事業名 「太平山三吉神社 梵天奉納 三吉節(仮)」

出演者 太平山三吉神社氏子

実施日 平成32年3月1日(日)(予定)

会場 ミュージアムラウンジ(予定)

(7) エリアなかいち関連イベント

事業名 「《秋田の行事》 動物はどこにいる(仮)」

実施日 平成31年2月

講師 美術館スタッフ

会場 にぎわい交流館 a u

(10) 出前講座

事業名 「壁画《秋田の行事》からのメッセージ」
実施日 未定
講師 学芸員
実施校 未定

Ⅲ調査研究事業

《秋田の行事》をはじめとする平野政吉コレクション、および藤田嗣治の作品を調査研究し、その成果を公表する。

Ⅳ美術ホール（県民ギャラリー）運営事業

事業内容

- 1 絵画、デザイン、彫刻、書道、写真、児童・生徒作品等、美術ホール（県民ギャラリー）で展示する個人および団体の利用受付業務、展示指導を行う。
- 2 特別展「藤城清治展」では、美術ホール（県民ギャラリー）と展示室を一体的に展覧会会場として機能させる
- 3 美術ホール（県民ギャラリー）と2階・3階の展示室あわせての鑑賞を促進する。

Ⅴ売店事業

藤田作品の理解を深めるため、インターネットでの《秋田の行事》の額絵販売を行う。
秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者へ絵はがき等の販売を委託する。